

第2回 多摩川トンネル浮島ランプ構造勉強会

議事概要

1. 日 時:令和5年10月6日(金) 15:00～16:30

2. 場 所:九段第3合同庁舎15階 関東地方整備局会議室

3. 委 員:

(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 所長	真下 英人
東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 教授	高橋 章浩
東京大学 大学院 工学系研究科 教授	福田 大輔
東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科 准教授	柳沼 秀樹
川崎市 川崎区役所道路公園センター 所長	小林 登
川崎市 建設緑政局 広域道路整備室長	安部 正和
国土交通省 関東地方整備局 道路計画第一課長	木本 悠太
国土交通省 関東地方整備局 道路工事課長	山田 寧
国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所長	藤坂 幸輔

4. 議事概要:

○下記事項について確認した。

- ・浮島地区周辺の概況、交通状況および国道357号浮島ランプ整備による効果など。
- ・交通面から、多摩川トンネル山側整備後の整備形態や代表的な浮島ランプのアクセス方向による交通量推計の結果など。
- ・構造面から、浮島地区をゾーンに分けて検討した浮島ランプ形式について複数案検討し、施工時の技術的な課題など。
- ・複数案のランプ形式について、交通面及び構造面から比較検討を行い、効果が大きく課題の少ない形式として4案選定すること。
- ・今後は、選定した4案について、評価項目に基づき比較評価を行い、浮島ランプ最適案を策定すること。
- ・進め方として、引き続き、勉強会を開催し、最適なランプ構造を検討すること。

以上